



学校教育目標 「生命(いのち)輝く子どもを育てる」
 一心はほかほか、学びはしっかり、体ははつらつ」



とてひの かふち

《学校だより》 第7号

令和2年7月16日発行
 湯河原町立湯河原小学校
 校長 北村和裕

例年ならば、あと少しで夏休みという時期です。しかし、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で臨時休業が長期に渡り、授業時数を確保するために7月31日(金)まで授業があります。通常の学校生活に少しずつ戻り、13日からは、子どもたちによる給食の配膳も行っています。

冷房と換気、マスクの着脱のタイミングなど、新型コロナウイルスの感染症予防とともに熱中症の予防の取り組みも、確実に進めていきたいと思います。



給食当番が再開

スマホ・携帯安全教室

7月3日(金)に、5・6年生を対象にしてスマホ・携帯安全教室が開かれました。講師はNTTドコモの方です。



姿の见えない人とのやり取りや情報公開によるリスク、コミュニケーションアプリによる仲間内でのトラブルなどを、実際に起こった事例をもとに話していただきました。

インターネットは益々便利になり、子どもの将来に必要なものになります。しかし、使い方を誤るとお子さんが犯罪に巻き込まれたり、ネット依存になったりすることもあります。インターネット機器をいつ買い与えるか、使い方の約束をどう作るかは各家庭で行うことです。

アメリカのある母親が、13歳の息子にスマホを与えて良いか悩んだ末に「スマホ18の約束」という契約書を作って渡したそうです。その中には

「これは私の携帯です。私が買って、あなたに貸してあげています。」「学校がある日は19:30に、休日は21:00に携帯を私に返します。翌日の朝7:30まで電源オフになります。」と記されたものがあります。

子ども任せにせず、しっかりとルールを決めて正しく使えるようにしていくことが大切です。それが子どもを守ることにあります。

学校評議員会

7月10日(金)に、第1回の学校評議員会が開催されました。今年のメンバーは次の8名の方々です。

内藤良浩さん(宮上区長)、深澤昌光さん(宮下区長) 畑 敏明さん(城堀区長)、高杉貞男さん(門川区長) 北川喜代子さん(学識経験者)、邊見千恵さん(主任児童委員)、巻上浩昭さん(りんどう会・会長) 富士川恵美子さん(みやのうえ保育園長)

まず、学校経営計画や新型コロナウイルス感染症対策等についてお伝えしました。そして、校舎内を回り、各学年の授業を見ていただいた後、意見交換を行いました。

臨時休業中や学校再開後の子どもたちの様子についての質問や意見が多く出されました。「長期欠席児童に対して民生委員等が関わることが何かできないか。」「夏休みが短くなるが、暑さ対策は大丈夫か。」「登下校時の見守りは子どもが少なくなってしまった地域でもしっかりやっていきたい。」など。

子ども達の教育は学校だけではできません。地域の方のご理解、ご支援、ご協力が不可欠です。学校評議員のみなさまの学校への温かい思いを強く感じます。

これからも、よろしくお願いします。



学校評議員会での意見交換

見つけたら教えてください

ある朝、校門のところで登校してくる子たちに挨拶をしていると、女の子が近寄ってきました。「校長先生、黄緑と青のキャップを見つけたら教えてください。」とお願いされました。詳しく話を聞くとキャップは鉛筆に付けるもので、体育で学習カードを書くときにも使ったので、運動場に落としてしまったかもしれないと話してくれました。きっと自分でもあちらこちらを探し、なかなか見つからなくて他の人にも聞いて回っているのだと思います。

物が溢れている時代です。なくなったらまた新しい物を買えばいいと思うからか、落とし物箱がいっぱいになっている光景を何度も見えています。だからこそ、あの子の何とか見つけたいと思う気持ちに心打たれました。見つかってほしいなと願うばかりでした。

子ども達の様子は、湯河原小ホームページ・ブログにも掲載しています。

ホームページ <http://yusho527.jp/> (ここからブログも閲覧できます)